

支援だより

第4号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和8年2月



今回の支援だよりは、並木第一小学校との交流について、金沢シーサイド FM ラジオ出演、ST のつばやきの3本立てです。

並木第一小学校との学校間交流について

令和7年10月7日(火)、小学部A部門の児童とB部門の4年生の児童が、並木第一小学校の4年生と交流しました。前半は小Aフロアで、A部門の児童との交流を深めました。まずは朝の会をいつも通り元気にスタート。その中で並木第一小学校4年生のみなさんがエイサーを披露してくれました。迫力たっぷりの演技には圧倒されている子もいました。

後半は、体育館へ移動し、B部門の4年生も加わり、3つのグループに分かれて「ボッチャ」を行いました。一人ずつ自己紹介や好きなものの発表を行ってから、練習投球を行いました。練習の時から、「おお〜!」「やった!」など真剣に取り組み、楽しむ子どもたち。いざ対戦が始まると、たくさんのピンが倒れるたびに歓声が上がり、さらに大盛り上がりとなりました。対戦を終え、並木第一小学校、金沢支援学校それぞれの児童に感想を聞きました。「たのしかった」「交流できてよかった」など笑顔で答えてくれて、お互いにとても有意義な時間になったことと思います。



金沢シーサイド FM ラジオ出演について

金沢支援学校では、昨年度より地元のローカルラジオ局「金沢シーサイド FM」に協力いただいて、学校紹介レポートを行っています。今年度も高等部3年生が中心となり、2回の生放送を実現しました。1回目の放送では、学校への登下校方法の紹介や授業の内容を紹介しました。2回目の放送では、学習発表会の最終日に行う高等部の販売会の宣伝を行いました。原稿を作成したり、インタビューの練習をしたり、直前の打ち合わせでアドリブを考えたり、生徒たちはとても緊張して本番に臨みました。生放送本番では、ラジオ局の Reporterさんが和やかな雰囲気にしてくださり、大成功することができました。自分たちの声が地域に届く喜びを味わい、やり遂げた手応えを感じている様子でした。この

活動を通じて、生徒たちの自信や新たな成長を実感しています。地域とのつながりが広がる素敵な経験になりました。



ST(言語聴覚士)コラム

今年度は、「PECS®～絵カード交換式コミュニケーションシステム」のスターターキットを学校で購入しました。今回は、PECS について紹介をさせていただきます。

絵カード交換式コミュニケーションシステム (Picture Exchange Communication System®) の略称で、PECS (ペクス) と呼ばれています。1985年にアンディ・ボンディとロリ・フロストによってアメリカで考案され、世界中、年齢関係なく、様々な障がいをもつ (認知、身体、そしてコミュニケーション) 沢山の学習者に実践されてきました。(ピラミッド教育コンサルタント ホームページより)

音楽 (を聴きたい) や絵本 (が欲しい) と、自分の今やりたいこと [要求] を写真や視覚シンボルで伝え、自発的に要求ができるところから、開始していきます。シンボルは、写真・イラスト・ロゴ・半具体物 (実物のミニチュアなど) その子に応じたもので、行います。また、自発的なコミュニケーションだけでなく、視覚的なスケジュールの理解や「待つ」や「ない」の理解などの内容も含まれています。個々に応じたコミュニケーション手段の一つとして、活用していければと思います。

(例)

